

まずは、あなたのアレルギー度をチェック

- 決まった季節に目のかゆみ、充血、くしゃみ、鼻水がでる
- 掃除、衣替えなどをすると目のかゆみ、くしゃみ、鼻水がでる
- 肌が乾燥しやすく、湿疹がでやすい、荒れやすい
- ちょっとした刺激で肌が赤くなりやすい
- ひじやひざの裏など屈曲部に湿疹がでる
- 食べ物を食べた後、お腹が痛くなることもある、蕁麻疹がでる
- 果物や野菜を食べると口の中やのどがピリピリ・イガイガする
- 嫌いなものではないが、食べられないものがある
- 息苦しい時がある(ゼイゼイ・ヒューヒュー)
- 咳が8週間以上続くことがある
- 家族にアレルギーの人がいる

ひとつでも心当たりがある方はアレルギーかもしれません。

この機会にアレルギー検査を受けてみませんか？

たくさんの種類のアレルギー検査をすることで、自分でも思ってもみなかったアレルギーの原因が見つかるかもしれません。

検査を希望される方は医師・スタッフまでご相談ください。



サーモフィッシャーサイエンティフィックグループ
ファディア株式会社

〒110-0015 東京都台東区東上野 4-24-11
NBF上野ビル 9F

1401-D-467-1

その症状、実は アレルギーかも!?



まずは裏面で
あなたの
**アレルギー度を
チェック!**

一度に36種類の
アレルギーの原因を
調べられる検査があります。

※アレルギーの原因は血液検査の結果を参考とした医師の診断によって特定されます。

その症状、実はアレルギーかもしれません

- ときどき、じんましんみたいにかゆくなる。
- 春をすぎても花粉症の症状が…。
- うちの子、特定の食べ物を嫌がるけど好き嫌い？

もしかして、
それってアレルギー!?



そもそも「アレルギー」って?

私たちの体には、外から入ってきた異物を排除しようとする「免疫」という機能が備わっています。「免疫」は、細菌やウイルスから体を守ってくれる大切な仕組みです。ところが、ときとしてこの「免疫」が過剰に働き、食べ物やホコリ・花粉など、身の回りにおいて通常は体に害のないものにまで反応してしまうことがあります。そして、かえって体に害を起してしまうのです。これがアレルギーです。アレルギーを起こしやすい体質は遺伝する傾向があり、ご家族にアレルギーの方がいるとお子様にもアレルギーが起きる可能性が少し高くなります。



アレルギーで起こる病気にはどんなものがあるの?

ぜんそく/長引く咳

気道が狭くなり呼吸が妨げられ「ゼイゼイ」「ヒューヒュー」という音をともなう呼吸障害や慢性的な咳が特徴です。進行するとさらに過敏になり、ちょっとした刺激でも発作が起きやすくなります。

アトピー性皮膚炎

皮膚にかゆみをともなう湿疹がみられ、よくなったり悪くなったりを繰り返します。夏の汗や日差し、冬の乾燥など季節の影響を受けて症状は変化します。掻くことによって症状は悪化します。

アレルギー性鼻炎/アレルギー性結膜炎

くしゃみ・鼻水・鼻づまり、目のかゆみ・充血などの症状を引き起こします。スギ花粉症に限らず、秋に好発するキク科花粉症、ダニを主成分とするハウスダストによる通年性のものなど、原因アレルゲン・季節により様々です。近年では発症が低年齢化しています。

食物アレルギー

食べ物が原因となって引き起こされるアレルギーです。主な症状として発疹・じんましんなどの皮膚症状、お腹が痛くなるなどの消化器症状、「ゼイゼイ」するなどの呼吸器症状があります。

OAS(口腔アレルギー症候群)

果物や野菜を食べることで口・唇・喉などの口腔粘膜やその周辺にピリピリ・イガイガ感が起きます。OASの原因食物として、例えばキウイやリンゴがあります。多くは花粉症と合併しており、原因食物と同時に原因花粉の回避も重要です。

小さなお子様は口腔粘膜の症状を表現できず、食べたがらないことがあります。ただの好き嫌いではないかもしれません。



一度に36種類のアレルギーの原因を調べられる検査があります

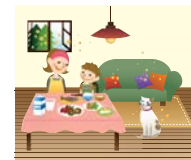


アレルギーの原因は身近なところにあります

アレルギーを引き起こす物質を「アレルゲン」といい、私たちの周りのいたるところに存在します。

アレルギーの原因は1つとは限りません

アレルゲンとなる物質は人によって様々です。1人が複数の原因アレルゲンをもっていることもあります。



原因を知ること、それがアレルギー治療の第一歩です

アレルギー性疾患の治療は原因アレルゲンを正確に特定することが重要です。ぜんそく・アトピー性皮膚炎・アレルギー性鼻炎/アレルギー性結膜炎では薬物療法と原因アレルゲンの除去・回避(セルフケア)、食物アレルギーでは原因食物を食べないこと(食物除去)が原則となります。原因アレルゲンとの接触が続けばアレルギー症状が慢性化して治療が困難になっていきます。正確に原因アレルゲンを特定することで、注意しなければいけない季節、最小限除去しなければいけない食物などがわかり、生活への負担も軽減されます。隠れたアレルギーの原因を見逃さないためにも、また不必要な食物除去をしないためにも、医師による正確な診断をうけましょう。



こんな検査です!

一度の少量の採血で36種類ものアレルギーの原因が調べられます。室内塵や花粉、食品表示義務7品目を含むアレルギー性疾患の主要な原因アレルゲンが網羅されています。



吸入系 その他アレルゲン		食餌系アレルゲン	
室内塵	ヤケヒョウヒダニ、ハウスダスト	卵	卵白、オボムコイド
動物	ネコ、イヌ	牛乳	ミルク
昆虫	ガ、ゴキブリ	小麦	小麦
樹木	スギ、ヒノキ、ハンノキ、シラカンバ	豆・穀・種実類	ピーナッツ、大豆、ソバ、ゴマ、米
草本類	カモガヤ、ブタクサ、ヨモギ	甲殻類	エビ、カニ
空中真菌	アルテルナリア(ススカビ)、アスペルギルス(コウジカビ)	果物	キウイ、リンゴ
真菌その他	カンジダ、マラセチア、ラテックス	魚・肉類	マグロ、サケ、サバ、牛肉、鶏肉

検査を希望される方は医師・スタッフまでご相談ください。